

事務事業名	畜産農家堆肥舎整備支援事業		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	法令根拠	家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律
政策名	総合計画 03	基幹産業の農業に対する強化・支援	所属部門	経済部 農林課	農畜産係(グループ)
施策名	05	農業経営と農村生活基盤の強化・支援	課長名	谷 保 義 明	担当者名 福田 秀 夫 (内415)
基本事業名	211111	農業生産基盤の整備	予算科目	会計 1 5 1 7	事業 畜産振興事業
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 食のまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 次世代				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 (開始年度 年度 ~) (14 年度 ~ 25 年度)				

事業概要 法律により、全ての畜産農家が平成16年10月までに糞尿の素掘り、野積み解消することが義務付けられていることから畜産農家が法に適合した糞尿処理施設を平成17年度までに自己により整備した場合、町・農協それぞれ1/3以内の補助を行う。また、堆肥舎等整備に要した借入金について利子の一部を補給する。	全体計画 (単位:千円)
	特定財源
	一般財源
	その他
	事業費計 (A)
	正規職員従事人数
人件費	
人件費計 (B)	
トータルコスト(A)+(B)	

(1) 事務事業の目的と効果	
手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細) 16年度実績 法律の管理基準に適合した家畜ふん尿処理施設の整備に対して補助と利子補給補を行う 17年度計画 平成16年度と同様	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 本事業による堆肥舎等の整備数 棟 イ ウ
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 法に該当する畜産農家	対象指標 (対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 畜産農家 戸 イ ウ
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 法に適合した家畜排せつ物の管理を実現する	成果指標 (対象における意図された対象の程度)数字は記入しない 名称 単位 ア 施設の整備率 % イ ウ
結果(どんな結果に結び付けるのか) クリーン農業の確立	上位成果指標 (結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 家畜糞尿管理苦情件数 件 イ ウ

(2) 総事業費・指標等の推移									
	単位	14年度 (実績)	15年度 (実績)	16年度 (実績)	17年度 (見込)	18年度 (目標)	19年度 (目標)	年度 (最終目標)	
投入量	特定財源	千円							
	一般財源	千円	1,996	5,868	9,827	5,344			
	その他	千円							
	事業費計 (A)	千円	1,996	5,868	9,827	5,344	0	0	0
	正規職員従事人数	人	4	4	4	3			
	人件費	千円	0	0	217	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,996	5,868	10,044	5,344	0	0	0	
活動指標	棟	1	3	7	3				
対象指標	戸	88	86	83	84				
成果指標	%	46.6	65.1	100	100				
上位成果指標	件								

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か? 家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律が制定されたことから	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか? 平成16年11月に法が完全施行された。家畜排せつ物の管理状況は良くなって来ている。
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 施設整備後に増頭をした法対象者より、補助事業による堆肥舎の増設要望有り	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価			
目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由] ↘ 家畜糞尿の適正管理と糞尿の堆肥製造によるクリーン農業の推進	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 手が引ける [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない [理由] ↘ 新法の施行により緊急的に整備を行う必要があったため、畜産農家の負担軽減を図ることとした。	
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input type="checkbox"/> 余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘ 堆肥舎整備が完了すれば借入金の利子補給のみの支援となる	
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない [理由] ↘ 対象畜産農家の経済力及び後継者問題	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↘ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ 堆肥舎の緊急整備での畜産農家の負担軽減を行っている事から	
有効性 評価	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ↘ [理由] 国費事業等は既に十分に活用してきたが、緊急対策として町単独でも支援措置を講じてきたもの <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ↘ [理由]	
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献した ↘ 【具体的に】 <input type="checkbox"/> 貢献していない ↘ 【全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由】 農村環境の保全に貢献している。	
	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↘ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ 上限単価を定めており、削減の余地はない。	
効率性 評価	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 可能 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 [理由] ↘ 既に農協と業務の分担をしており、これ以上削減の余地はない。	
	受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由] ↘ 堆肥舎建設の畜産農家は1/3事業費負担	

3 改革・改善方向の部(PLAN)																							
(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 法の制定後5年を経て平成16年11月に完全施行されていること、整備が概ね進んできたこと等を踏まえ、平成17年度を終期としている。	(3)改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(2)改革,改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？ H16年11月家畜排せつ物の管理の適正化利用の促進に関する法律施行により早期の堆肥舎整備必要。																							